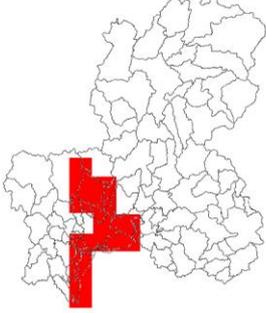


オグラノフサモ	<i>Myriophyllum oguraense</i> Miki	絶滅危惧I類
(環境省:絶滅危惧II類)		アリノトウグサ科
選定理由	生育地が限定されており、大部分の生育地で個体数の減少が著しいため。	写真(清水英彦) 
形態の特徴	葉は3-5輪生で、4輪生が多い。沈水葉は長さ10-45mm、羽片の長さは大きいもので26mm、羽片数は片側で6-15対。ホザキノフサモよりも沈水葉の羽片の間隔が広い傾向にある。抽水葉は花序にのみつき、長さ2-12mm、羽片数が多い(5対以上)。花期は7-9月。雌雄同株。殖芽は細長い棒状で16-33mm、殖芽の葉は沈水葉よりも羽片が短く幅広い。	
生態的特徴	湖沼、溜池、河川などに生育する多年生の沈水植物。	
分布状況	本州(関東・新潟以西)・四国・九州に分布し、岐阜県では県南の中部と西部の低地に分布する。	
減少要因	水辺環境の改修工事、増水による河道の変化、水質悪化、外来種のおオフサモとの競合。	
保全対策	開発行為からの生育環境の保全及び、外来種おオフサモの除去。	
特記事項		
参考文献	角野康郎. 1994. 日本水草図鑑. 文一総合出版, 東京.	

文責: 清水英彦